

Ver.20H2 : Windows 10 October 2020 Update
 Ver.2004 : Windows 10 May 2020 Update
 Ver.1909 : Windows 10 November 2019 Update
 Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update

製品名	実行バージョン	~			対応予定バージョン	対応時期・備考
		Ver.1909 対応状況	Ver.2004 対応状況	Ver.20H2 対応状況		
QND Standard	Ver.11.0.4(*)	△	△	△	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【制限事項】 - Windows 10 20H2/2004(バージョンは「2004」と表示されます) - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - Windows 10 v2004/20H2では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「ランチャ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます * Ver.10.4iでも同様	
	SPM Ver.3.9i	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - コントロール実行中にリフレッシュPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコントロールがフリーズすることがあります 事後発生時はタスクマネージャーからSPMコントロールを終了し再度コントロールを起動するようお願いします	
	QPM Ver.1.2i SP12	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です	
QND Advance	Ver.11.0.4(*)	△	△	△	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【制限事項】 - Windows 10 20H2/2004(バージョンは「2009」と表示されます) - 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - Windows 10 v2004/20H2では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「ランチャ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます * Ver.10.4iでも同様	
	SPM Ver.3.9i	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - コントロール実行中にリフレッシュPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコントロールがフリーズすることがあります 事後発生時はタスクマネージャーからSPMコントロールを終了し再度コントロールを起動するようお願いします	
	QPM Ver.1.2i SP12	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です	
	License Guard Ver.5.2	○	○	○		
	URL Filtering Ver.5.2	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません	
	QND ClientLog Ver.2.6.11.1i (*1)(*2)	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します - 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する	
QND Premium	Ver.11.0.4(*)	△	△	△	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【制限事項】 - Windows 10 20H2/2004(バージョンは「2009」と表示されます) - 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - Windows 10 v2004/20H2では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「ランチャ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます * Ver.10.4iでも同様	
	SPM Ver.3.9i	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - コントロール実行中にリフレッシュPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコントロールがフリーズすることがあります 事後発生時はタスクマネージャーからSPMコントロールを終了し再度コントロールを起動するようお願いします	
	QPM Ver.1.2i SP12	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です	
	URL Filtering Ver.5.2	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません	
	QND ClientLog Ver.2.6.11.1i (*1)(*2)	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します - 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する	
	QND ClientLog Ver.2.6.11.1i (*1)(*2)	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します - 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する	
ISM CloudOne	Ver.6.8.1i	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【制限事項】 - Windows 10 v20H2でハードウェアインベントリを取得すると、「Windows 10(バージョン)の種別は「2009」と表示されます - Windows 10 v2004/20H2の場合、ハードウェアインベントリの「Windows Update情報」にある「更新方法」が空欄になる場合があります ※グループポリシー「コンピューターの構成」->「管理用テンプレート」->「Windowsコンポーネント」->「Windows Update」で、「自動更新を無効する」を「有効」にし、「17 - 自動アップデート、インストールに同意、再起動を通知」を選択している場合に本事象を確認 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新モデルを指定する: SACT」を選択してもクライアントに反映されません b. ハードウェアインベントリの「Windows 10 更新モデル」が空に「SAC」になります	
	外部メディア制御 (オプション) Ver.6.8.1i	△	△	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【制限事項】 - 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません	
	操作ログ (オプション) Ver.6.8.1i	○	○	○		
	ふるまい検知 (オプション) Ver.3.3.574.1	○	○	○		
	ディスク暗号化 (オプション) 82.10.9579	○*	x	x	* 対応状況についてはサービス事業者もしくは販売店までお問い合わせください	
	URL Filtering (オプション) Ver.5.2	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません	
KeyServer Ver.7.6	○	○	○	■Ver.1903/1909/2004/20H2 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows 10 20H2/2004(バージョンは「2009」と表示されます)		
eX WP Ver.4.4i SP5	△	△	x	■Ver.1903/1909/2004 【制限事項】 - RP1モード、またはRP2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません ■Ver.20H2 動作検証中		
QQR Ver.1.4	○	x	x	■Ver.2004/20H2 動作検証中		
Quality Gasho PDF Suite Ver.5.3	△	△	x	■Ver.1903/1909/2004 【制限事項】 - Windows 10 1903以降においてQuality Gasho PDF Suiteをインストールし、PDFビューアをGasho Docに変更しても、設定が変更されません ■Ver.20H2 動作検証中		
Quality Gasho PDF Server Ver.2	x	x	x	未定		
DXS Plus Ver.2.4	○	x	x	■Ver.2004/20H2 動作検証中		

製品名	実行バージョン	macOS (10.14)	macOS (11)	対応予定バージョン	対応時期・備考
		対応状況	対応状況		
QND Advance/Premium/Standard	Ver.11.0.4f	△	x	2021年夏頃	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IQOS購入履歴が利用できません。 ・macOS 10.13.4より、Adobe製品情報収集プログラム(AdobeInfo)、フォント情報収集プログラム(BiPackFont)のインストールを実行した際にクライアントにて各々一度だけ警告ダイアログが表示されます。本警告表示に関しては、Webページ(https://support.apple.com/ja-jp/ht208436)を参照ください。 ・リモートコントロールが利用できません。 ・以下のイベントリプライラインを利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe製品イベントリプライ(AdobeInfo) ・ フォントイベントリプライ(BiPackFont) ・ コントロール(Controls)は、UTF-16に対応していません。テキストエディタ(TextEdit.app)を利用してsystempreferenceでText encodingを(UTF-16LE)に設定してQND.logを参照してください。 ・ sandboxタイプのアプリケーションは、SUを利用して起動できません。sandboxタイプのアプリケーションの識別方法は、ActivityMonitor.appのメニューから「View」→「Column」→「Sandbox」をOnにします。ActivityMonitor.appの画面の「Sandbox」の列、sandboxタイプのアプリケーションは「Yes」、非sandboxタイプのアプリは「No」が表示されます。 ・ ソフトウェア配布の宛先として「タスク」→「配布」→「ファイル転送」で指定するソフトウェアのプロパティで「宛先ファイルが転送先フォルダにある場合転送、なければ転送しない」を指定時、比較先ディレクトリ名を設定しても参照せず、転送先ディレクトリ名を参照して動作します。 ・ ソフトウェア配布の宛先として「タスク」→「配布」→「ファイル転送」で指定する「配布するソフトウェアのプロパティ」で比較先ディレクトリ名を設定して「コピー元がないファイル削除」をオンで利用する場合、事前にmacOSの設定で、「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」で「QND」に対するフルディスクアクセス権限のチェックを有効にする必要があります。 ・ 「タスク」→「イベントリプライ」→「ソフトウェア」で指定する「指定するアプリケーション」欄には、「f」から始まる絶対パスでファイル名を指定する必要があります。ファイル名のみの指定はできません。なお、ワイルドカード「*」は利用可能です。 ・ macOS 11ではイベントリプライが正常に取得できない等、正常に動作しません。
QND ClientLog	Ver.2.6.11.1i	○	x	未定	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高権限設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可する必要があります。 ・ (*)高権限で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> 1. 端末上で任意の権限セグメントを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」→「高権限」からQND ClientLogクライアントを許可する ・ macOS 11では一部のログが正しく取得できない、ログイン時にエラーが記録される等、正常に動作しません。
ISM CloudOne	Ver.6.8	△	x	2021年秋頃	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ISMクライアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。 ・ Ver.6.8以降のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップデートすると、ISMクライアントが動作しません。 ・ ISMクライアントの通知を許可しない場合、アラート通知やメッセージ通知が表示されません。 ・ 高権限設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが隠蔽してメニューバーのみの表示になります。 また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。 ・ (*)高権限で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> 1. 端末上で任意の権限セグメントを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」→「高権限」からISMクライアントを許可する ・ macOS 10.14にISMクライアント(64bit版)をインストールした状態でmacOS 10.15へバージョンアップすると、外部デバイス制御/操作ログ取得が正常動作しない場合があります。 ・ macOS 10.15にISMクライアントを新規インストールした場合は正常に動作しません。 ・ macOS 11では外部デバイス制御、操作ログ取得機能、OS情報を正しく取得できない等、正常に動作しません。
KeyServer	Ver.7.6	○	△	未定	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)適用により対応します。 ・ KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)未適用の場合、macOS搭載のGatekeeperが、Apple社サーバへアクセスできる場合のみ公認済みとして動作します。 ・ macOS 11では、以下の制限があります。 ・ OSバージョンが、10.16と表示されます。 ・ Apple M1 CPUの場合でもCPUタイプにIntelのCPUが表示されます。

製品名	実行バージョン	iOS 14		対応時期・備考
		対応状況	対応予定バージョン	
ISM CloudOne	Ver.6.8.1i	△	未定	<p>【注釈事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インバースアプリはiOS11.0以降に非対応 <p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで解除できない機能があります。 ・ (*)「Apple Configurator 2」でOS標準を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS標準単位で設定が必要です。なお、iOS12からバージョンアップした場合、割り当てられているプロファイルが変更されるまでは非監視モードでも制御が可能です。変更されると標準の制御ができなくなります。 ・ 「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSがインストールされたプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。 ・ 個人データを取得するメッセージの内部が正常に表示されない場合があります。 ・ ISMサーバで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 <p>※下記の機能は動作不可です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOSクライアントの初期登録 ・ イベントリプライ ・ 位置情報取得 ・ 通知許可リシーの届出 ・ 全配布ソフトウェアのアンインストール ・ パスコード初期化 ・ リモートロック ・ リモートワイプ ・ ソフトウェア配布 ・ 禁止ソフトウェア設定 ・ アプリケーションポータル ・ MDM構成プロファイル削除通知

製品名	実行バージョン	iPadOS 14		対応時期・備考
		対応状況	対応予定バージョン	
ISM CloudOne	Ver.6.8.1i	△	未定	<p>【注釈事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インバースアプリはiOS11.0以降に非対応 <p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで解除できない機能があります。 ・ (*)「Apple Configurator 2」でOS標準を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS標準単位で設定が必要です。 ・ 「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSがインストールされたプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。 ・ 個人データを取得するメッセージの内部が正常に表示されない場合があります。 ・ ISMサーバで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 <p>※下記の機能は動作不可です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOSクライアントの初期登録 ・ イベントリプライ ・ 位置情報取得 ・ 通知許可リシーの届出 ・ 全配布ソフトウェアのアンインストール ・ パスコード初期化 ・ リモートロック ・ リモートワイプ ・ ソフトウェア配布 ・ 禁止ソフトウェア設定 ・ アプリケーションポータル ・ MDM構成プロファイル削除通知

○：対応済み
△：一部制限ありで動作可能
×：動作検証中 または、未対応
-：非対応

- 未定部分は、決定次第お知らせします。
- 動作検証中の方は、検証完了次第情報更新します。
- 注釈事項は対応しない場合があります。